組合だより

2010. 1. 5 発行 第 103 号

~ 年頭にあたって ~

理事長 中村光雄

組合員の皆様 新年明けましておめでとうご ざいます。

昨年も組合事業にご理解とご協力を賜り感謝 申し上げます。

顧みますと昨年もいろいろな出来事がありました。裁判員制度がスタートし、実際にその判決も出されています。新型インフルエンザが流行、拡大し今も要注意です。

何よりも大きな出来事は、8月の衆議院議員選挙で圧倒的な数で鳩山新政権が誕生したことであります。

その後の行政刷新会議による新年度予算の『 事業仕分け』は、連日テレビ放映され、かつて 私たちが目にしたことのない衝撃的な映像を見 ることとなり、この中でいわゆる天下りの裏の 部分も表面化したのであります。

無駄を無くして必要な事業に予算配分するのは誰しもが賛同するところですが、私ども企業にとっては、この不況下において経済対策はどうなのか、中小企業の振興対策は何が打ち出さ

札幌鉄工関連協同組合

·IP-phone 050-3462-4993 ·TEL 661-2648 ·FAX 665-1408 http://www6.ocn.ne.jp/~s-tekkou/ E-mail: kanren00@poem.ocn.ne.jp

れるのか、昨年末に来年度政府予算案が決まり ましたが、具体的なその予算配分はどうなるの か、何よりも注目されるところであります。

一方、北海道新幹線着工の動向も不透明であり、道内経済活性化の牽引力となるべきものが 見当たらない相変らず先の見通しの立たない状況にあります。

さて、組合事業につきましては、平成 18 年度 から 3 カ年事業として取り組んできた国費事業 「中小企業人材確保推進事業」が昨年 3 月で終了 し、また、平成 19 年度からの「たんぽぽ計画」事 業も昨年中に概ねの事業を終えたところであり ますが、これら事業は、企業にとっても組合に とっても極めて有意義な事業であったと考えて おります。事業の推進にご協力願った皆様にお 礼を申し上げる次第です。

組合員の状況をみますと、永く厳しい経営環境の中、昨年1社の脱退もなく全組合員が揃って新年を迎えられましたことが、私としては何よりも喜ばしいことであります。

今年もまた新たな気持ちで皆様とともにがん ばっていきたいと思います。 結びになりますが、この新しい年が組合員 企業にとって新たな飛躍の年になりますこ と、また皆様のご健勝を心からご祈念申し上 げ新年のご挨拶といたします。

(中村運送㈱ 代表取締役会長)

~ 年頭挨拶 ~

安全衛生協力会 会長 小泉一成

新年明けましておめでとうございます。

安全衛生協力会の昨年の活動は、会員皆様 のご協力のもと、重大な災害もなく無事一年 を終えることができましたこと感謝申し上げ ます。

また、「たんぽぽ計画」事業に関しましても フォローアップ活動が順調に進み 3 年間の活 動もこの 2 月を以って終えられますこと併せ てお礼申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、日本の政治に おいては政権交代という大きな変革がおきま した。

さらに世界を見ると、経済の活力がアメリカから中国に移っていくそんな流れを感じる年でありました。世界経済が大きな変革の中にあり、もがいても、もがいても先が見えない、そんな時代を過ごしている思いを感じています。

こんな時は、出発点に戻ってみることが大切 なのではないでしょうか。そこで今回、日本 に於ける産業安全衛生の出発点を見てみまし ょう。

日本に於ける安全衛生運動の先駆けは、足 尾銅山での「安全専一」運動と言われていま す。

当時、足尾銅山の所長さんであった小田川 全之さんが米国研修で訪れたUSスチール社 ゲーリー工場で行われていた「Safety First」 のスローガンを日本に持ち帰っておこなった のです。

USスチールでは、工場の設計施工、設備 導入、レイアウト、据付、運転に至るまでの 過程を安全第一主義の下に実施し、それまで の災害が激減し、かつ生産効率も大幅に向上 したということです。

現在では当たり前に行われていることですが、当時としては画期的なことでありました。

1906年のことですから、今から 100年ほど前の出来事であります。

今年の安全衛生協力会の活動は、3年間の「たんぽぽ計画」事業を終え、継続的に行われている安全活動に加えて、新たな視点で事業を構築し、会員企業の危険予知、さらに、企業イメージアップに貢献できるようにいたしますのでよろしくお願いいたします。

(小泉建設㈱ 代表取締役)

~ 新年に当たって ~

発寒地区異業種交流プラザ 代表幹事 富田 忠 義

新年明けましておめでとうございます。

発寒地区異業種交流プラザを代表いたしま して、年頭のご挨拶を申し上げます。

いつもながら、月日の経つのは早いものです。 とはいっても、時計は早く回っているわけで もなく、人がいや自分がそう感じているに過ぎ ないのです。分かっていながら益々そのスピー ドが早くなっているように思うこの頃です。組 合員企業の皆さまに於かれましては、いかがで しょうか。

リーマンショックなるものから1年を過ぎ、 この間の皆さまのご苦労とご尽力は如何ばかり かと思い致す次第です。

その難局に対処するに於いては、基本は自分 自身のパワーですが、人との様々場面・関係で の交流があったのではないかと思うのです。

そのお互いの刺激・研鑽が自己を支え・パワーアップの基にもなっていると思うところです。

当プラザでは、そういった相互協力の交流 を重ねながら、新しいチャレンジを試みたいと 思っています。そして一歩一歩前進いたしま す。

(富田能力開発研究所所長)



あとがき

組合員の皆様、明けましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。 (事務局一同)